



飯能市・高萩市 友好都市提携10周年記念誌

未来を志向した新たなつながり

吹かせよう
つなご風

飯能市友好都市交流委員会



友好から友情へ

飯能市長

大又保勝

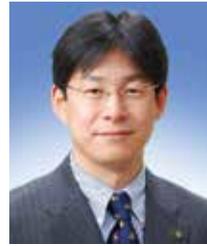
400年の時を越え、平成15年11月、武人中山氏を仲立ちとして友好都市協定を締結しました。これにより、私たちは、文化、スポーツ、観光、経済など各分野における交流を通して、両市の友好の輪を大きく育ててまいりました。

私たちは、この10年間で、共に笑い、喜び、祝い、そして大きな困難を乗り越えてまいりました。そして、今、私たちは、友となり、新たな友好の歴史を歩み始めたところです。

今年1月、友好都市提携10周年を記念して、高萩市から萩の苗木を頂戴しました。本市では、これを一つの契機として、「萩の里づくり構想」を推進することとし、この度、高萩市民の想いが込められた苗木によって、萩の里づくりの第一歩を大きく踏み出せることを大変うれしく思っております。

そしてこの萩の里が両市の新たな心のよりどころとして、これからもお互いに手を携え、小さい花が集まって艶やかに咲き誇る萩のように、一人ひとりが輝く未来の高萩、未来の飯能を創っていく象徴になることを願っております。

結びに、これまで友好都市交流にご尽力くださいましたすべての皆様に感謝と敬意を表するとともに、この「友情」が絶えることなく、両市の未来を担う萩っ子や杉っ子たちに受け継がれていくことをご期待申し上げ、ごあいさついたします。



上級武士が結んだ縁

高萩市長

草間吉夫

ある一人の高名な上級武士によって結ばれた縁。

それが飯能市と高萩市であります。このご縁の媒酌人を務めた人物こそ、天下の副将軍として名高い徳川光圀公を見出した水戸藩初代附家老の中山信吉公です。信吉公は飯能市出身。公の子孫は代々松岡領(高萩地方)を治めました。このご縁により、両市は友好都市の盟約を交わしました。

盟約から10年が経ち、交流の輪は市民各種各層へと広がりを見せています。とりわけ小学生のスポーツ交流戦は、「中山公兜争奪杯」として毎年夏の真っ盛りの時に熱戦を繰り広げています。今や両市の早慶戦となりつつあります。あと20年もすれば伝統の一戦と呼ばれることでしょう。

また先の東日本大震災によって大きく被害を受けた高萩市に対して、職員派遣をはじめ義援金や救援物資等の多大なご支援を頂きました。大変な時だっただけに感謝に堪えません。市民一同心から御礼を申し上げます。

そしてこの1月、中山家12代信守公甲冑の完全複製が完成しました。この甲冑は、両市の新しいシンボルとなるはずです。ぜひ飯能市民の方にご覧頂ければ幸いです。

ある高名な上級武士によって結ばれた交流の縁が、今後さらに深化していくことをご祈念申し上げまして、挨拶に代えます。



中山信守甲冑写真
所蔵：高萩市就将館
飯能市郷土館(高萩市寄贈・複製)



中山信吉坐像
所蔵：智観寺(飯能市中山)



中山信守甲冑
(完全複製：2014)
所蔵：高萩市就将館



時空を越えて

智観寺住職

中藤栄岳

人が郷土を創り、郷土が人を創る。

丹治氏が都よりこの武蔵の地にやってきて、加治氏・中山氏と1000年の時が流れました。今、飯能は中山氏を介し常州高萩市と縁を結び、さらに発展しつつあります。

思えば高萩市より400年前の中山氏の恩に感じ、平成初頭より智観寺に調査に来られた佐川氏をはじめ、多くの皆様のご尽力あってこそ、現在の姿に成ったと言えます。深く心より感謝申し上げます。

かくして、飯能は偉大な人物によって郷土が創られ、郷土は偉大な人物を生み、さらに縁を全国に広げ、未来に大きな希望を抱こうとしています。この未来を託すのは故郷が育む人材に他なりません。

郷土の教育力を信じ、友好都市提携10周年をお祝い申し上げます。



友好都市交流締結10周年

永久なる縁の
飯能と高萩

飯能市友好都市交流委員会会長

大森嘉朗

平成15年10月、飯能市友好都市交流委員会準備会が発足し、翌11月1日、飯能市市制施行50周年記念を機に、茨城県高萩市との友好都市協定が締結された。今年度10周年を迎え、両市民の皆様と共に喜びを分かち合える事を感謝申し上げます。また、それ以前より両市友好都市協定締結に向けて、御尽力を戴いた先達の皆様の心にも思いを馳せる。

天生18年、豊臣秀吉の小田原城攻めの際、八王子城に散った武蔵国中山村の勘解由中山家範がいた。その嫡男照守そして次男信吉が、家康の家臣として徳川家に仕えるようになる。信吉にいたっては、御三家水戸藩の附家老となり、藩主頼房を支える事となる。その子信正が、松岡城の地(現高萩市地域)を拝領したことにより、飯能市と高萩市の縁の萌芽につながる歴史が刻まれる。友好都市協定締結以降、両市民・各団体の交流の輪が大きく広がり現在に至っており嬉しい限りです。

今後共、両市の友好・発展が永久に続けられん事を祈ります。

萩つつじとりもつ縁の 柀に月

永久に咲かなむ 常陸・武蔵に



高萩市小学生による郷土学習
所蔵：高萩市就将館



中山信吉坐像(複製)
(馬目隆広・作)
所蔵：高萩市就将館



中山信吉肖像画(松隈雅江・画)
所蔵：高萩市就将館



中山信吉肖像画
(中村光夫・画)
所蔵：高萩市就将館



前飯能市長

沢辺 清彦

お祝い

飯能市高萩市交流10周年おめでとうございます。

両市の交流が始まってから10年間に大きく進み、確実に実を結びつつあることを感じるにつけても、交流を結んだ時の当事者として嬉しい限りです。私が市長に就任する以前から中山備前守の繋がりで、郷土史家や観光関係者の交流がありました。私は就任後直ちに友好都市の締結を申し込みました。高萩市側も異論なく、平成15年11月1日に協定が締結されました。

当初、市でも色々な交流イベントを企画しましたが、それ以上に民間同士や個人レベルの交流がどんどん進みました。そうした中、交流が最も盛り上がったのは、不幸なことでしたが、あの3・11東日本大震災の時でした。飯能市では市役所も市民も高萩市のことを本当に心配しました。

これからも両市の交流を、永く続けてもらいたいと思いますが、「水を飲むときは井戸を掘った人のことを思え」という言葉がありますように、先人たちの努力を大切にされるのがよいと思います。



前高萩市長
(現高萩市議会議員)

岩倉 幹良

お祝い

高萩市の松岡城主であった戸沢政盛公が、1622年出羽新庄への転封に伴って、飯能市出身の水戸藩附家老であった中山信正公が松岡知行主となったのが1646年のことである。このようなご縁で御市との友好都市提携が結ばれたのが2003年のことで、今年度で10周年を迎える。

その当時を振り返りますと、当市では前年5月、東証一部上場企業日本加工製紙(株)が倒産、従業員約1000人が職場を失い、家族を含めると約2800人が路頭に迷うことになり、まち全体が沈んだムードにあった時期でありました。

こうした時期に御市との友好都市提携は市民に大いに歓迎され、その後はご案内の通り相互に友好を深め現在に至っております。先の3・11東日本大震災の際には、多大なるご援助を受け感謝に堪えません。これからも、こうした絆をより深め、両市がますます発展することを願うものであります。



祝 友好都市協定締結
(飯能まつりパレード)



中山氏の鎮守
丹生神社の棒ささら
(高萩市下手綱)



2003年 友好都市協定締結



飯能市教育委員会教育長

澤田清志

もののふが結ぶ「まち」と「まち」
～友好都市提携10周年を祝して～

飯能市と高萩市との友好都市提携10周年にあたり
衷心よりお祝いを申し上げます。

高萩市とのつながりは、中山氏のお殿様を通じた
“ご縁”です。このご縁が10年という歳月により、“絆”
となりました。

まつりや多くのイベントを通じた文化交流、海水
浴やツアーマーチの参加・スポーツ少年団の交流を
通じたスポーツ交流、文通や互いの訪問による学校
間交流、また、平成23年発生した東日本大震災とそ
の後の災害復興活動等、多くの交流がなされてきま
しました。両市間の絆が太くなってきているのを実感し
ています。

さて、次の10年は、友好関係の青年期を迎えます。
さらなる交流の継続を期待しつつ、本市教育委員会
としましても、互いの教育委員会・学校との連携を今
より一歩進めて、手始めとして小・中学生がテレビ会
議等を通して学習し合い、互いをより理解し合える
関係づくりを目指していきたいと考えています。

結びに、今後高萩市のますますの発展と両市の友
好関係が深まり、互いの絆がより太くなることを祈
念申しあげ、お祝いのことばといたします。



高萩市教育委員会教育長

菅波洋平

友好都市提携10周年記念誌の
発刊を祝して

このたびは、友好都市提携10周年記念誌の発刊、
誠におめでとうございます。心から、お喜びを申し
上げます。

水戸徳川藩の附家老中山公のご縁で、平成15年11
月1日に、飯能市市制施行50周年式典において友好都
市の盟約が結ばれたのを機に、いくつかの交流事業
を行ってきました。中でも、スポーツ少年団による
野球、ミニバスケット、サッカーの中山公兜争奪杯は、
参加者を熱くさせるものがあります。

また、東日本大震災で高萩市は大きな被害を受け
ましたが、飯能市立第一中学校吹奏楽部の生徒の皆
さんが来訪し、すばらしい演奏で高萩市民を勇気づ
けてくれたことを決して忘れることはできません。

今後も、教育・文化の面から、一層絆を深めてまい
りたいと考えております。

飯能市



市の花 つつじ



市の木 杉



市の鳥 うぐいす

高萩市



市の花 はぎ



市の木 松



市の鳥 きじ

友好都市提携

高萩市と飯能市の友好都市提携は、江戸時代、現在の高萩を長く治めた水戸藩附家老「中山家」の祖である中山信吉公の出身地が飯能市であったという歴史に基づいたもので、平成15年11月1日に飯能市の市制施行50周年を記念して結ばれました。

そして、歴史や観光分野からはじまった交流は、文化・スポーツ、経済、災害時相互支援など多彩な交流へと発展し、お互いの理解と信頼関係を築いてきました。

平成26年1月の飯能市市制施行60周年記念式典では、両市長をはじめ、両市の小学4年生などが作成した「未来へのメッセージ」のタイムカプセル封印と、友好都市提携10周年を祝し、高萩市から飯能市へ「萩」が贈られました。

封印されたタイムカプセルは、中山信吉公の菩提寺智観寺で10年間保管され、友好都市提携20周年を迎える平成35年に開封する予定です。そして、高萩市から寄贈された萩は、中山氏先祖伝来の地（飯能）で、現在に生きる私たちとともに育ち、両市の交流を可憐な薄紅色で彩りながら、無数の友好と友情の花が咲き誇る未来へと導いてくれるでしょう。



飯能市市制施行50周年記念式典
飯能市市民会館

友好都市提携に関する協定書



タイムカプセル「未来へのメッセージ」
(飯能市市制施行60周年記念式典)



飯能市



高萩市

中山氏と飯能・高萩

戦国時代の豊臣秀吉(とよとみ ひでよし)小田原城攻めの際、後北条氏(ごほうじょうし)家臣だった父“中山家範(いへのり)〔飯能を拠点として活躍〕”は八王子城で壮絶な戦いの末に果てました。その雄姿が徳川家康に認められ、二男“中山信吉”は、家康の十一男“徳川頼房(よりふさ)〔水戸藩初代藩主〕”の附家老となりました。地方の単なる一族の中山家が御三家の附家老になるという大出世でした。

松岡城地(現在の高萩市)を与えられたのは二代“信正”時代。それ以来、松岡地理誌を作った“信敬(のぶたか)〔十代〕”や明治新政府で松岡藩主や松岡県知事になった“信徴(のぶあき)〔十四代〕”など松岡の地から常に逸材を輩出してきました。

中山家 歴代当主			
初代	信吉(のぶよし)	八代	信昌(のぶまさ)
二代	信正(のぶまさ)	九代	政信(まさのぶ)
三代	信治(のぶはる)	十代	信敬(のぶたか)
四代	信行(のぶゆき)	十一代	信情(のぶもと)
五代	信成(のぶなり)	十二代	信守(のぶもり)
六代	信敏(のぶとし)	十三代	信宝(のぶとみ)
七代	信順(のぶゆき)	十四代	信徴(のぶあき)



中山信吉木碑(智観寺)
埼玉県指定文化財・書跡



中山信吉墓(智観寺)
埼玉県指定文化財・史跡

寛永二十一年(一六四四年)信吉三回忌にあたり、息子信正により建立。高さ四mほどの塚の上に、高さ三mあまりの宝篋印塔が立つ。

飯能市 山紫水明のまち



飯能まつり

◆高萩市のホームページで紹介されている飯能市◆

埼玉県の南西部に位置し、市域全域が奥武蔵県立自然公園に属しており、天覧山、宮沢湖、名栗渓谷など観光地も多いまちです。

江戸のまちづくりを担った木材産地であり、今でも緑が色濃く残り、スギやヒノキの「西川材」の産地として有名です。

山車の引き合わせや神輿をかつぐ声でまちが祭り一色に染まる飯能まつりには、10万人の人出でにぎわいます。

市制施行 昭和29年1月1日

面積：193.18㎢ …市域の約76%が山林

人口：81,266人(世帯数：33,299)

〔平成26年1月1日現在〕

飯能市と高萩市は、直線距離にしておよそ160km。遠く離れてはいますが、歴史が紡いだ糸によって、両市はしっかりと結ばれ、強固な絆となっています。

両市はともに昭和29年に市制を施行し、市域の約8割は山林です。美しい自然を有する点でも共通していますが、高萩にあって飯能に無い決定的な違いは海です。

高萩の東には太平洋が悠然と広がり、市内には絶景が点在しています。



高萩市キャラクターはぎまる®



森林文化都市
- HANNO -

イメージキャラクター 夢馬

高萩市 白砂青松のまち



高戸小浜

◆飯能市のホームページで紹介されている高萩市◆

茨城県北東部に位置する高萩市。新緑や晩秋の紅葉が美しい花貫渓谷や、日本の渚・百選でもある風光明媚な高戸小浜海岸など、豊かな自然に恵まれたまちです。

また、歴史風情が残るスポットも数多く、茅葺屋根の穂積家住宅や石畳のお屋敷通りなどの街並みは、かつて城下町として栄えた面影を色濃く残しています。昭和46年から行われている高萩市の夏の風物詩である「高萩まつり」では、地元の神輿や山車の響演、流し踊りなどが実施され、街中が活気にあふれます。

市制施行 昭和29年11月23日

面積：193.65㎢ …市域の約85%が山林

人口：29,781人(世帯数：11,706)

〔平成26年1月1日現在〕



東日本大震災

平成23年(2011年)3月11日に発生した東日本大震災では、津波による大きな被害はなかったものの、高萩市は3つあった市役所庁舎すべてを取り壊さなければならないほど、市内各所で地震により甚大な被害を受けました。

飯能市は、震災直後から救援物資や職員派遣などの支援を行い、さらに多くの市民の皆様から災害義援金が高萩市へ寄せられました。

また、飯能市の姉妹都市アメリカ合衆国カリフォルニア州ブレア市のオランダ高校の生徒から125通の手紙「東日本の友だちへ」が、高萩市の高萩高校と高萩清松高校へ手渡され、高萩市とブレア市の文通が始まりました。

東日本大震災を乗り越えた飯能・高萩両市の絆は、一段と強固なものとなり、国や地域を越え、友好の輪は確実に広がっています。



震災の様子を伝える新聞
文化新聞社提供(平成23年3月15日号)



飯能市からの緊急救援物資



高萩市の被災状況



飯能元気市(飯能市役所:平成23年5月15日)

飯能市と高萩市は、災害応援協定を結んでいます。

飯能市は震災直後から水や食料品などの救援物資搬送をはじめ、高萩市の復旧業務が本格化する中、技術職員(3名)の派遣も行いました。

職員派遣期間:平成23年8月~平成24年1月(3~6か月間)

【高萩市の建物被害】

全壊 222棟 半壊 1,172棟 一部損壊 4,256棟

※市内の4割強の世帯が建物被害を受けました。

市報たかほぎ(平成23年12月号抜粋)

復旧・復興に向けて

飯能市からの応援職員紹介③

高萩市では、道路や水道などの一日も早い復旧を目指し、友好都市から3人の職員の派遣を受けています。先月号に引き続き、応援職員を紹介します。



建設課
施設整備グループ
市川 敏明さん

8月1日から高萩市役所の一員として勤務しています。建設課の施設整備グループに所属し、主に公共施設の災害復旧を含めた営繕を担当しています。

飯能市役所では、建築課で公共施設の営繕等を担当している期間が最も長く、現在は都市計画課の公園担当で公園の維持管理や施設整備などの仕事をしています。

今年の4月には、り災証明の発行手続きの手伝いをするために、4日間ほど高萩市に滞在しました。震災後、間もないこともあって、建物や塀の損壊などが見られ、通行止めや道路の凸凹も多く、震災のすごさを目の当たりにしました。

高萩市は、飯能市と同じく市のほとんどが山林で、自然が多いところなど似たところが多いように感じました。また、車でアクセスも良く、スーパーなどの商店が駅周辺に集中しているなど、大変住みやすい印象を持ちました。さらに、高萩市にはきれいな海があり、私は趣味がサーフィンなので、機会があれば海に入りたくと思っています。

6ヶ月間という派遣期間ですけれども、高萩市の復興に尽力することができ、また、高萩市の良さを飯能市の人たちにピーアールすることができたらいいと考えています。

中学生による復興支援

飯能市内全中学校の生徒たちが、東日本大震災からの復興支援のため、飯能新緑ツーデーマーチや学園祭など、さまざまな形で支援活動を行っています。



原市場中学校生徒会 その1

飯能市立原市場中学校は、東日本大震災直後の平成23年5月に高萩市立松岡中学校と“姉妹校”となり、原市場中学校生徒会は、同年7月に開催された高萩市の夏の一大イベント「高萩まつり」に参加するとともに、松岡中学校にて交流会を実施しました。それ以降、両校の交流は毎年実施され、お互いの友情と信頼関係を深めています。

原市場中学校生徒会の皆さんが校内向けに作成・発表した資料の一部を紹介します！

2012 高萩市の“今”

松岡中学校との交流会はもちろん、高萩市の“今”の状況を皆さんに知らせるのも本部の仕事。

というわけで…

去年の高萩市の状況と今年の高萩市の状況をいろんなところにスポットライトを当てて比較してみました。

高萩市の方が実際に話したこともあわせてご覧いただけます。



松岡中学校は私たち本部だけの姉妹校ではなく、皆さんの姉妹校。しっかりと、姉妹校の現状を知ってください。

2011年 震災直後の高萩市

2011年7月30日に、前生徒会本部役員が高萩市を初めて訪問しました。

震災直後の訪問のため、震災による被害の傷跡を記録に残しています。



皆さんは

- ・普段生活をしている学校
 - ・登下校中に通るいつもの道
- が、もし自由に使えなくなってしまったらどんなことを思うでしょうか？

校舎に残る震災の傷跡

松岡中学校の校舎の一部は、ドアに「キケン」と書かれ、この先は通行止めとなっていました。



また、フェンスは大きく出っ張っており、震災規模の大きさを改めて実感します。



校舎内が立ち入り禁止や通行止めになっていたときのことを、松岡中生に聞いてみました。

「非日常が怖かった」

Q. 校舎内が自由に使えなくなったとき、どう思いましたか？
「ちょっとめんどくさかったです(笑)わざわざ遠回りとかしなきゃいけなかったんで…。校舎が自由に使えなくなるってことなんてまじなかったんで、非日常的な生活が怖いと感じました。」

また、震災時のことについてもこんなお話が。
「意外とみんな、いつも通りだったんですけど、多分見えないところで辛い思いしてたんじゃないかな…。」

被害に遭った松岡中生自身も、仲間に打ち明けられない苦しみがあったといいます。

明るさ取り戻した校舎

1年前は「キケン」という表示が貼ってあり通行止めとなっていたあのドアも今では元通りになっていました。



亀裂の入っていた道も、しっかりと修復され安全に通れるように！



「寄付金が戻した」高萩市

松岡中学校の先生からはこんな言葉をいただきました。
「原市場中の皆さんや飯能市の皆さんからの寄付金が、ここまで戻してくれたんですよ。ありがとうございます。」

私たち本部は、去年と同様に高萩市への義援金を集めました。本当にたくさんの方から義援金が集まり、それが高萩市の“復興の力”になっています。



今行っている支援活動は決して無駄なことではないんだと、全校生徒の皆さんに分かっていただけると嬉しいです。



飯能市友好都市交流委員会 初代会長

加藤由貴夫 (飯能市議会議員)

歴史と郷土を知り、未来へ大きく羽ばたく

飯能市と高萩市の友好都市締結10周年を心からお喜び申し上げます。

飯能市友好都市交流委員会は大森嘉朗会長のもと、茨城県高萩市との様々な活動を推し進め両市の皆様から高く評価されているところです。これもひとえに歴代の市長を始め、会員の皆様や市民各位の熱い心による御尽力の賜であり、深く敬意を表しますとともに、心から感謝申し上げます。

これまでの10年を振り返ってみますと、当時すでに、数十年にわたり両市の歴史に造詣の深い先達の皆様が交流を深め続けておられ、400年の時空を超えた取り組みは、交流事業へと発展し、新たな友好の場があたえられました。

温故知新ということばがありますが、徳川家康公による水戸藩と飯能出身の中山氏との関わりが、いま高萩市と飯能市に住む私たちに、歴史を通じて繋がりを確認し合える幸せを膨らませてもらっています。往時をしのび、偉人たちの素晴らしさを知ってこそ、今後活かせる何か生まれるものだと思います。

交流事業では、老若男女が世代を超えて活動しています。特に子どもたちが高萩市との関わりを知ることが、今後の取り組みの大きな鍵であり、歴史を知り、そして改めて自分たちの地域の魅力を再発見し、いずれ両市のかけ橋となって大きく羽ばたいていただきたいと思っています。

2011年の東日本大震災においては高萩市では大きな被害を受けられ、いまだ復興の最中で、心よりお見舞いを申し上げます。どんなことが起きても、お互いを大切に尊重し合って、長い歴史のひとこまを、今後も大切に紡ぎ合いながらの400年先を楽しみにしています。

飯能市友好都市交流委員会の皆様におかれましては、今後とも斬新なアイデアと卓越した行動力により、ますます活発に活動され、更なる両市の発展に貢献されることを祈念して、お祝いの言葉といたします。



高萩市観光協会 元会長

舟生 佳紀 (元高萩市議会議員)

祝 友好都市締結10周年

友好都市が締結し10周年を迎えたことを心からうれしく思います。城主中山様のご縁で友好都市を結びたいと高萩市観光協会や高萩市明るい社会づくり推進協議会のメンバーで飯能市を訪れました。民間の人の来高や当市からの御市への訪問等交流が始まり気運が熟し友好都市締結となりました。

友好都市に向け尽力されました、市長を初め民間の人達の尽力があって友好都市が締結されたと存じます。友好都市締結への詳細は御市発行「文芸飯能29号」に詳しく掲載されています。

友好都市締結以来10年を迎え、市民の交流、スポーツの交流、祭への参加等、交流は盛んになっていることは大変うれしいことであります。特に3・11東日本大震災の際には多大のご援助を賜ったことに有難く御礼申し上げ“絆”が強まって行くことを感じます。

10周年記念誌に寄稿出来ますことに感謝し飯能市と高萩市の交流により新たな文化が生まれることを祈念しお祝いの言葉とします。



高萩ふるさと案内人の会 会長

石 平光

友好都市10周年を祝して

高萩市民の一人として3・11東日本大震災では、市長さん始め飯能市の皆様の温かいご支援に改めて感謝申し上げます。地元で観光ボランティア活動をしている関係で飯能市の皆様とは度々お目に掛かっております。

高萩市は戦中戦後、木材産業常磐炭坑の中心地として栄えた時期もありました。江戸時代は徳川幕府より水戸藩に付けられた附家老中山の殿様の二万五千石の領地です。水戸藩が全国から水戸に学者を集めた水戸学の影響を受け、県北地区の学問文化の中心地でありました。江戸時代から今日まで小都市ながら多数の学者を輩出しております。伊能忠敬より45年も前に日本地図を作った長久保赤水、植物学者の松村任三、儒学者武術師範多数、近年では元一橋大学長政府税調会長の石弘光氏も高萩のルーツです。これら学問文化の原点は飯能出身の中山信吉・信正公から続く地政血筋の伝統から出ずるものと思っております。個人的には飯能市は55年前私の大学時代の青春の思い出の地であり、天覧山の展望、名栗川の清流は今も記憶に残っております。

これからも両市が歴史スポーツ歌謡等文化面での相互交流を深め絆が益々深まることを願っております。



飯能市友好都市交流委員会 二代会長

浅見 徳男 (元飯能市教育次長)

友好都市提携10周年

飯能市中山出身で江戸時代初期の武人、中山信吉が徳川家康の信を得て、水戸藩の附家老となり、やがて高萩を領地とした。

その縁から高萩市議舟生氏から飯能市へご連絡をいただき、飯能市の企画部長など3名の市職員が高萩を訪問したのが昭和60年。

以来、飯能郷土史研究会や加治郷土資料同好会の高萩訪問、高萩の観光キャンペーン団の飯能来訪など、民間交流が始まり、ついに平成15年11月に「友好都市協定」が締結の運びとなった。

その後、少年野球・両市の祭りへの相互参加や文化・スポーツなど、多くの分野で交流事業が進み、官民挙げて友好の絆が深まっている。

太平洋に続く碧海の高戸小浜、緑成す山野、絆を結んだ竜子山。

今まさに、両市は新たな歴史を刻んでいる。





“みんな”ネットワーク飯能 代表

石井 英子

「高萩市民ばやし」の不思議な力

平成16年7月に“みんな”ネットワーク飯能の会員23名がマイクロバスで高萩市中央公民館へ伺いました。待っていただきましたのは、高萩市文化交流会の益子会長、吉田先生、大部助役をはじめとする20名以上の皆様でした。

この訪問の目的は、高萩市で踊り継がれている民踊を教えていただくこと。この時、私たちは多くの民踊を教えていただきましたが、その中で特に私たちは「高萩市民ばやし」の虜(とりこ)になってしまいました。

この訪問以降、私たちが参加する各種の催物で、可能な限りこの曲を流し踊っています。それは小さな子どもなど普段は民踊と縁が無い人も、実に生き生きと明るく踊り出すからです。

平成19年5月、民踊をとおして知り合いました高萩市の根本議長のお力添えで、磯節の第一人者、伊東律子先生と磯節道場ご一行様が飯能市民会館へお越しいただき、ふるさと自慢「高萩VS飯能」を開催することとなりました。飯能側は吾野出身の小沢千月先生が中心となり、両市の歴史と文化を共に深く理解することができた、素晴らしい“自慢大会”となりました。

私たちはこれからも「高萩市民ばやし」を踊り続けます。未曾有の被害をもたらした東日本大震災ですが、この曲の不思議な力が高萩市を、そして日本をきっと元気にしてくれる。そう願いつつ踊り続けます。



高萩市市長公室四英傑専門官 就将館館長

佐川 春久

平成26年、ぜひ「中山サミット」の開催を！

平成13年に、高萩市教育委員会で、徳川光圀を水戸藩の二代目藩主に選んだ中山信吉、マンガと写真で一挙紹介の本を作成した。

その後、平成15年11月1日に、高萩市と飯能市は友好都市の盟約を結んだ。早いもので、平成25年が締結10周年記念の年となった。

さらに、この絆を深め広げていくために、平成26年の高萩市市制施行60周年記念式典には、ぜひ、高萩市内で関係する市とともに「中山サミット」を開催したいと密かに考えている。つまり、中山家縁の神奈川県小田原市、東京都八王子市、埼玉県飯能市、茨城県水戸市・常陸太田市・高萩市が一堂に会してお互いの郷土の歴史認識と市民相互の交流を行い、郷土愛を育むことを目的とする。

さらにあわせて、安全安心なまちづくりを目指した大規模災害時相互応援協定の締結を行う。ぜひ皆さんのお力添えをお願いしたい。



松岡小学校の郷土資料室
松岡藩藩校「就将館」



丹生ささら保存会 前会長

樋口 一男

さらなる発展を！

友好都市提携10周年おめでとうございます。私達が中山氏の氏神である丹生神社の棒ささらを飯能市の皆様に披露させていただいたのが、この締結が行われた市制50周年記念の翌年の飯能まつりでした。

その際、皆様の大歓迎を受け、私達は気持よくささらの演技をさせていただきました。特に、友好都市交流委員会の皆様の心温まる「お・も・て・な・し」をいただき、皆様の意識の高さに感激いたしました。また、この数年前に、ささら保存会や旧屋敷町の人達と、先祖の故郷かも知れない飯能市を訪れる機会がありました。この時史跡等を案内下さった飯能歴史研究会の皆様の、見識の高い説明に大へん感動いたしました。

このような飯能市の皆様の文化的意識の高さが、高萩市民に多大な影響を与え、高萩郷土史研究会の発足や、史跡案内人養成講座から発展した高萩ふるさと案内人の会の活動へとつながっていったと確信しています。現在、ふるさと案内人の会で活動していますが、あの時の歴史研究会の皆様のことを常に念頭に置いて、分かりやすく質の高い説明を心掛けています。

今後は、10周年を機に更に良好な友好関係を維持するためにも、様々な交流を通して両市がともに影響し合える関係を構築し、継続していくことに尽力したいと思います。



飯能市友好都市交流委員会委員

吉川真由美

海岸アートプロジェクト2009に参加して

堤防をキャンバスにしてテーマに沿って自由に絵を描こう・・・このタイトルに胸躍らされて参加したのは、今から5年前の10月10日です。

この「海岸アートプロジェクト」は、高萩市市制施行50周年記念事業として、平成16年(2004年)にはじまり、750mもある堤防に色とりどり工夫された絵画150作品が描かれています。そして、最後となる6回目の時に飯能からも2区画参加することになりました。

1つ目は“Little Dream チーム” テーマは『こんな島あったらいいな』です。宝島とかタコとかがいて、みんな仲がいい島に行けたらいいなという思いで描いたそうです。2つ目は、私が参加した“海大好き会 チーム”。テーマは『愛がいっぱい海の世界』です。

飯能は、海がないので海への憧れも強く、平和への気持ちも込めて魚たちが寄り添い愛にあふれている感じを描きました。

堤防コンクリートは、たて1m×よこ4m。そのキャンバスは、とても広く大きく感じましたが、1人1人の力を合わせて楽しみながら作業を進めていきました。

なかなか出来ない良い経験をさせて頂き、また、このことを通して高萩市との距離が少し近くなった感じがします。





よさこい飯能乱舞^{ラブ} 代表

北島 環

友好都市10周年に寄せて

平成25年7月27日の第43回高萩まつりに、よさこい飯能乱舞は初参加しました。それまでは不勉強の為、高萩市の事をあまり理解していませんでした。

高萩市で巡り合いました全ての皆様に対する印象は、明確な『郷土愛』の強さでした。これはまさに「目から鱗(うろこ)」、長年私の心の奥底に眠っていた想いが覚醒(かくせい)するほどの経験でした。3年前の東日本大震災以来、日本人の意識は変わったように見受けられます。「個」から「家族」や「地域」、果ては「国」という戦後軽視・蔑視されてきた「日本人」あるいは「自分とは」という、本来あるべき姿に戻る契機になったような…。『絆・愛・心』という短いけれど、日本人が忘れていた日本人たる感覚の復活。私個人としては「ようやく生きやすくなったな。」と感じる矢先の、高萩市の皆様との出会いでした。

地域の先人を教育の中で传承する姿勢。「先祖・親あつての自分の存在」という当たり前の感性へと繋がる理想の道徳教育の実践。飯能市は素晴らしいご縁を紡いできたのだと、二重の感動を味わっている今日この頃であります。



高萩ウォーキングクラブ 会長

青木 秀明

多面的な交流で更なる“絆”向上へ

この度、友好都市提携10周年を迎えられましたこと、お互いに喜びたいと思います。この間、お互いの友好関係について初期の目標としての歴史や文化など教育分野の交流については一定の成果をみたのではないのでしょうか。

市民の一人として大変嬉しく思っております。又、東日本大震災発生時での心温まる義援金等を賜わり、改めてお礼を申し上げます。

現在、私は高萩ウォーキングクラブの会長を務めており、会員120名で県協会の中で活動しております。さて、飯能市は魅力的な環境に恵まれ、自然豊かな歴史のまち、ウォーキングについては既に豊富な実績をもち、意識の高さを認識しております。

私達は「歩く喜び」を感じながら社会貢献できればと常に感じております。歩くことは健康だけでなく、環境、教育、観光、交流にも役立ち、これからも更なる友好の「絆」向上に微力ながら発信して行く所存です。最後に先輩格の皆様には今後とも引続きお力添えをよろしくお願い申し上げます。





高萩市立松岡中学校三年

小野 大輔

伝統となる友好都市交流



松岡中学校と原市場中学校とは、数年前から交流活動をしており、僕は生徒会役員として、これまで3度の交流活動に参加しました。

平成24年5月に行われた「第10回飯能新緑ツーデーマーチ」に参加したのが、僕にとって初めての交流活動でした。ウォークラリーを行い、飯能市の中学校や地域の様子を聞くことができました。また、自然いっぱいの公園で食べたお昼は格別でした。

続いて、夏休みの生徒会役員同士の交流です。平成24年度に引き続き今年度も、松岡中学校を会場とし、夏休み期間中に行いました。それぞれの中学校の紹介や生徒会役員の自己紹介から始まり、今後の交流活動についての話し合いを行い、交流クラスを作り、地域紹介の掲示物を通じた交流の深まりを目指すことをお互いに確認することができました。

また、高萩と飯能に共通する歴史上の人物「中山信吉公」について、隣接する高萩市就将館で共に学ぶことができ、改めて友好都市としてのつながりの深さを実感しました。

平成25年の2学期からは、生徒会だけでなく全校生徒が交流できるよう、学級や学年単位での交流をはじめました。これからもこの有意義な交流活動を伝統として、後輩に引き継いでいきたいと思います。



飯能市立原市場中学校三年

佐野 希邑

高萩市・松岡中学校との絆

平成25年の夏、私は「高萩市訪問」に2度目の参加をさせていただきました。私たち原市場中学校は、東日本大震災をきっかけに姉妹校となった松岡中学校に毎年おじゃましています。

平成24年の訪問時には、少しではありますが震災の傷跡が見られ、校舎内には立ち入り禁止になっている場所もありました。でも、今回の訪問では震災の影響を受けたものはあまり見受けられず、「復興」を感じることができました。

松岡中学校のみなさんはとても優しく、姉妹校としての活動について、活発に話し合いをすすめることができました。お互いの交流を深め合うこともでき、とても有意義な体験をさせていただいていることをうれしく思います。

ほかにも高萩まつりに出かけて「流し踊り」に参加させていただくなど、高萩市を堪能することができました。

これからも、高萩市との絆(友好・交流)を深められるよう、積極的に活動していきたいと思います。





飯能一小フレンドリー主将

武藤 広真

高萩市と飯能市のスポ少交流野球大会



高萩市と飯能市のスポーツ少年団交流野球大会が、平成25年8月3日に飯能市民球場で開催されました。開会式の時、僕は飯能市スポーツ少年団の代表として「歓迎のことば」を発表しましたが、緊張して言葉が思い出せなくなりました。だけど、持っていたメモのおかげですべて発表することができました。

試合は2試合行いました。1試合目は今年新しく高萩市に作っていただきました中山氏の家紋が入った兜をかけた「兜争奪杯」で、試合結果は4対4の引き分けでした。

お互い勝者敗者がなかったので、その兜を両チームのキャプテンが交互にかぶり、仲良く記念写真を撮りました。

翌日は、飯能市役所に集合してバスで名栗のカヌー工房へ行き、カヌー体験をしました。カヌーはそれぞれ飯能・高萩の混成チームで乗り、カヌーのバランスをとることが難しかったですがお互い息を合わせ頑張りました。昼食は一緒にバーベキューを食べ、とても楽しかったです。

また、高萩の野球チームと試合をしたいです。



島名中央野球スポーツ少年団主将

鈴木 良佑

飯能市との交流の思い出(中山公兜争奪杯)

中山公兜争奪杯が平成25年度は“野球”と聞いてびっくりしたと同時に不安になりました。一緒の守備位置はだれだろうとか、僕は選ばれるのかなとかそんな気持ちになりました。レギュラーを決めるための練習の時には、自分のプレーがうまくできませんでした。少年団全体の選抜の時には、いつも以上に緊張してしまいました。なんとか選抜には選ばれたけど、レギュラー番号はもらえませんでした。すごくくやしくて、飯能市に行く当日まで素振りなどを一生懸命やりました。そしてその日がきました。他の高萩市の少年団の人とも仲良くなっていたので、チームプレーはばっちりでした。飯能市についてアップを始めた時には、みんなの目が変わってきていました。試合が始まり、最初はベンチでしたが、後から出ることができました。なんとか結果を出したいと夢中でした。僕の打席が回ってきて、監督からエンドランのサインが出ました。ファースト側に打てば最低でも進塁打になるので肩の力を抜いて打てました。守備でもライトゴロをしっかりアウトに出来たので良かったです。

結果は引き分けで悔しかったけど、かぶとは持ち帰ることができました。飯能市のチームは強かったです。次の日には、飯能市のチームと一緒にカヌーに乗ったり、バーベキューをしたりいい思い出ができました。飯能市の市役所の方、高萩市の市役所の方、本当にありがとうございました。



原市場中学校生徒会 その2

松岡中学校との交流

原中の発表



原中生徒に配布したアンケートの中で多かった質問を松岡中のみなさんに質問しました。

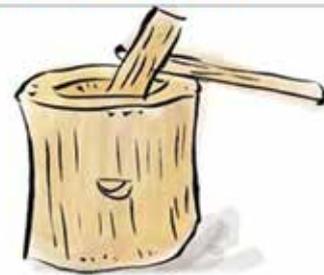
■原市場中学校生徒会作成クイズ(平成24年度)

Q 松岡中の生徒の特長は？



Q 松岡中ならではの行事は？

餅つきです！



校舎奥にある田んぼで、一年生が米を作って餅をつき、全学年で食べるそうです！

Q 松岡中での珍しいことは？

給食で納豆が出ます。



あのパックで給食に出てくるらしいです。

Q 飯能に来てどう思いましたか？



ありがとうございます！

高萩市にも海や山があってとてもきれいでした。

友好都市交流10年のあゆみ〔主な交流事業〕

平成13年(2001年)	3月	高萩市生涯学習推進本部・推進協議会が「徳川光圀を水戸藩の二代目藩主に選んだ中山信吉」を発行
平成15年(2003年)	10月	飯能市にて友好都市交流委員会が設立 特別展「中山氏と飯能・高萩 時と街を結んだ武士の系譜」開催(飯能市郷土館)
	11月	友好都市協定締結(飯能市市制施行50周年記念式典:11/1) 高萩市観光協会が「あんこう吊るし切り」披露(第33回飯能まつり)
平成16年(2004年)	6月	高萩市「幸福大学(高齢者大学)」学生が飯能市を訪問
	7月	飯能市民有志が第34回高萩まつり「流し踊り」に参加
	8月	第1回飯能市民訪問団が高萩海水浴場にて海を満喫
	9月	高萩市文化協会が飯能市を訪問
	11月	高萩市無形文化財「棒ささら」を第34回飯能まつりおまつり広場にて披露 高萩市市制施行50周年記念式典に飯能市が参加
平成17年(2005年)	7月	“みんよう”ネットワーク飯能が高萩まつり「流し踊り」特別賞を受賞 飯能市の多くの公民館で高萩市訪問事業を開催
平成18年(2006年)	6月	中山備前守信敬公記念 一絃琴演奏会実行委員会が飯能市市民会館にて一絃琴演奏会を開催
	7月	第1回スポーツ少年団友好都市交流事業開催(会場:高萩市) 軟式野球
	11月	高萩市民訪問団が第36回飯能まつりに参加
平成19年(2007年)	4月	飯能市歌謡連盟が高萩市文化交流「歌と踊り」に参加
	5月	唄と踊り“ふるさと自慢”高萩市VS飯能市フェスティバル ザ・“みんよう”開催(場所:飯能市市民会館)
	7月	中山自治会と中山囃子連が第37回高萩まつりで神輿の練り歩き
平成20年(2008年)	5月	高萩市が第6回飯能新緑ツデーマーチ初参加
平成21年(2009年)	10月	飯能市自治会連合会が高萩市を視察 飯能市民が高萩市の海岸アートプロジェクト2009へ参加(10/10)
	11月	高萩市市制施行55周年記念式典開催(11/7) 高萩市が中山信吉公を取り上げた「高萩三英傑」を出版 飯能市観光協会が高萩市産業祭に初出店
平成22年(2010年)	8月	高萩市が飯能市総合防災訓練に参加
	11月	飯能市民訪問団が高萩市の紅葉の名所「花貫溪谷」訪問
平成23年(2011年)	1月	松岡藩藩校「就将館」完成。中山信吉公の記念講演会開催(場所:高萩市文化会館1/14)
	3月	東日本大震災発生 飯能市が緊急物資を高萩市へ搬送(3/11) 友好都市交流委員会が災害義援金箱を設置(3/22)
	4月	飯能市が高萩市へ職員派遣(4/5) 高萩市復興祈念青空市が開催(4/16)
	5月	友好都市交流委員会が高萩市復興応援缶バッチ作成 飯能市役所にて飯能元気市が開催(高萩市参加:5/15) 飯能市立原市場中学校と高萩市立松岡中学校が姉妹校となる
	7月	飯能市立西川小学校と高萩市立松岡小学校との文通〔感謝と復興応援メッセージ〕 高萩市が中山信吉坐像を制作(開眼式:智観寺) 中山自治会・中山囃子連、原市場中学校、飯能夏まつり実行委員会等が 第41回高萩まつりに参加(流し踊り…飯能市第2位受賞:7/30)
平成24年(2012年)	8月	高萩市が飯能市の「銀座フレンドパーク2011」に参加
	12月	飯能市の姉妹都市ブレア市から高萩市へ復興応援メッセージ(125通)が届く
	1月	高萩高校と高萩清松高校、そしてブレア市との文通が始まる
平成25年(2013年)	3月	高萩市と高萩市教育委員会が「高萩歴代領主」を発行
	5月	第10回飯能新緑ツデーマーチに高萩市の中学生等総勢110人が参加(5/19)
	7月	第43回高萩まつりによさこい飯能乱舞など総勢120人の 飯能市民訪問団が参加(流し踊り…飯能市第3位受賞:7/27)
	11月	飯能市にて友好都市提携10周年記念「締結日イベント高萩DAY」開催(11/1)
平成26年(2014年)	1月	高萩市教育委員会が「高萩歴代領主・マンガでみる高萩四英傑」を発行(高萩市市制施行60周年記念事業) タイムカプセル封印と高萩市から萩166本が飯能市へ寄贈(飯能市市制施行60周年記念式典:1/12) 高萩市にて水戸藩附家老「中山信守甲冑」が復元され、記念講演会を開催
	2月	飯能市社会福祉大会会長表彰を飯能市友好都市交流委員会が受賞(2/22)

市民が織り成す友好都市交流

歴史を経糸(たていと)に、市民交流を緯糸(よこいと)に例えると、飯能と高萩の関係は織物になぞらえることができるのではないのでしょうか。市民という名の糸を乗せた杼(ひ)が、お互いを往復することで織物は織りあがります。そして、その織物は西陣織のような華美なものではなく、温かみあふれる質実な織物、まるで飯能大島紬のような織物ではないのでしょうか。

友好都市協定締結以前



2002 第32回高萩まつり
飯能市訪問団視察



高萩市民訪問団(歴史)
加治神社参拝(飯能市中山)



中山囃子連
高萩市役所にて演舞



2003年～2005年



第1回飯能市民訪問団



第34回飯能まつり
丹生神社棒ささら演舞



あけぼの子ども森公園と
郷土館(飯能市)



第1回高萩市民訪問団
智観寺見学



飯能囃子保存会合同参加
(第35回高萩まつり)



2005 高萩市民訪問団
(山車:飯能市原町)



高萩市文化協会と“みんよう”ネットワーク飯能が合同参加
(2005高萩まつり「流し踊り」)

2006年～2010年



飯能市民訪問団 穂積家住宅や丹生神社、
たつご味噌などを見学



高萩市海岸アートプロジェクト
2009



2010 高萩市の紅葉の名所「花貫渓谷」



高萩市民訪問団 中山信吉公墓
などを見学(休憩：飯能市中央公民館)



高萩市観光協会は第33回(2003年)
飯能まつりから毎年参加しています

スポーツ少年団の相互交流



平成18年から軟式野球、ミニバスケットボール、サッカーの3種目で実施。中山氏の家紋と飯能・高萩両市の市章が入った兜をかけた熱い交流試合と、和やかな親善試合を行っています。また、相互に訪問し合いながら、両市の歴史や文化、中山氏ゆかりの場所などを学んでいます。



2011年～2014年



行政だけではなく、小中学校や自治会、企業・各種団体など多くの飯能市民の皆さんが、高萩市の復興のため、さまざまな支援活動を行っています。そして、両市の信頼関係はより強い絆となりました。



松岡藩藩校「就將館」の看板として飯能市から西川材を寄贈



中山信敬公への一絃琴献奏 (場所：智観寺)



飯能新緑ツーデーマーチに高萩市民訪問団が参加



2014 第34回高萩市復興産業祭



2013 第43回高萩まつり(よさこい飯能乱舞)



友好都市締結日イベント高萩DAY 2013.11.1 (場所：飯能市市民活動センター)



2013 第43回飯能まつり(山車：飯能市宮本町)



2014 高萩市からの萩苗を草間市長と大久保市長が中藤 智観寺住職へ手渡しました。(立会：加藤 飯能市友好都市交流委員会初代会長)

共に豊かな自然と文化、歴史と産業、そして人情あふれるまち。

飯能市観光協会

飯能を歩こう。
都心から一時間で出会える心のふるさと…

Let's walk in Hanno

目指せ、ウォーキング人口3万人！
飯能市には、ハイキングコースの他に、
各地区にウォーキングコースがあります。

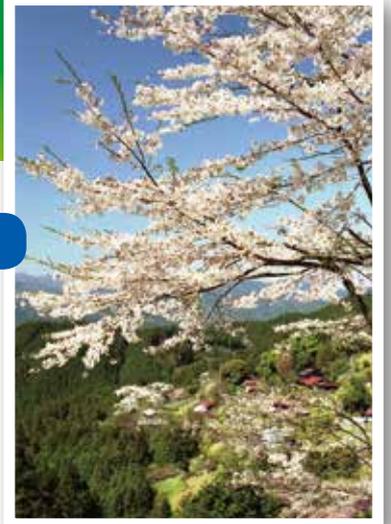


飯能河原

顔振峠

かあぶりとうげ
源義経が弁慶を伴ってこの峠にさしかかったとき、見事な風景に何度も振り返り歩いたという伝説があります。

エコツーリズムのまち
飯能



飯能市の宿

マロウドン飯能	双柳 105-8	042-974-4000	吉村旅館	仲町 8-3	042-972-2705
奥むさし旅館	仲町 24-8	042-973-2766	民宿 川波	白子 217	042-978-1493
休暇村 奥武蔵	吾野 72	042-978-2888	西山荘・笑美亭	上名栗 1753	042-979-0164
名栗温泉 大松閣	下名栗 917-1	042-979-0505	民宿 朋泉荘	上名栗 298-1	042-972-6514
飯能第一ホテル	仲町 12-15	042-972-1212	県立名栗げんきプラザ	上名栗 1289-2	042-979-1011
ビジネスホテルおがわ	仲町 20-17	042-974-2432	竹寺【医王山・八王寺】	南 704	042-977-0108
ホテル ヘリテイジ飯能 sta.	仲町 11-21	042-975-1313	宿坊 正覚寺	上名栗 2326	042-979-0235

飯能商工会議所

飯能商工会議所は、地域の商工業者の皆様が会員となり、地域に暮らす人々が豊かさや潤いのある生活を実現するため、地域の活性化や産業振興、まちづくり事業に取り組んでいます。

飯能すいーとん

昔懐かしい「すいとん」が「飯能すいーとん」になりました。



第11回(2013年)
埼玉B級ご当地グルメ王
決定戦第1位!

味噌付けまんじゅう

江戸時代からの飯能のおやつ



第11回(2013年)
埼玉B級ご当地グルメ王
決定戦第2位!



毎日、いろんなシェフの自慢料理に出会える、日替わりランチのユニークなお食事処です。
※出店者は常時募集しています



愛する飯能市の活性化を目的に、市民・地元企業・行政・団体等のボーダーレスな連合体を結成しました。飯能市の明るい未来を共に考え、飛躍・喜び・交流・思いやりをテーマに邁進していきます。

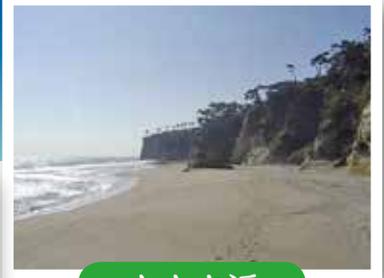
飯能市観光協会 電話：042-980-5051

飯能商工会議所 電話：042-974-3111

日帰り旅行も良いけれど、泊まって“ゆっくり”満喫してみませんか!

高萩市観光協会 takahagi tourist association

高萩市の観光...高萩市は太平洋の海原と阿武隈山系の多賀山地の間に位置するまち。これらの自然が造り出す四季折々のさまざまな景観がこのまちの観光資源です。



ささき浜

万葉の道

万葉集に詠まれた絶景の浜(ささき浜)を望む、歴史の道。

遠妻(とおづま)し
高にありせば知らずとも
手綱(たづな)の浜の
尋ね来なまし

茨城県北ジオパーク
日本ジオパーク
認定!
茨城県北部には15のジオサイトがあり、その代表的なエリア、花貫渓谷ではジオツアーを開催しています。



名馬里ヶ淵



紅葉の名所 花貫渓谷

高萩市の宿

さらしな旅館	本町 1-70	0293-22-2249	高萩 山の湯	上手綱 3028	0293-23-0126
セントラルホテル高萩	下手綱 1473	0293-24-3366	民宿 海草苑	高萩 242-8	0293-22-2671
ビジネスホテル青山	赤浜 381-2	0293-23-5111	旅館ビジネス松島館	本町 1-86	0293-22-2353
白木屋旅館	本町 1-89	0293-22-2020	ビジネスホテルヴァンサンカン	高戸 387-12	0293-23-4568
ビジネス旅館 泉屋	高戸 306-2	0293-22-3952	ホテル高萩	東本町 2-73-1	0293-22-5959
高萩ホテルクレスト	春日町 2-25	0293-24-1414			

高萩市商工会

高萩市商工会は、中小零細企業の経営改善普及事業や経営革新事業を柱に、「スタンプラリーセール」や「まちなかパーティー」等を開催し、中心市街地の活性化にも努めております。また、市観光協会の事業へも積極的に協力しています。



築240年の古民家「穂積家住宅(県指定文化財)」が期間限定レストラン「萩の茶屋」として大変身!
詳しくは「高萩市商工会」のホームページをご覧ください!



「まちなかパーティー」毎年10月の第3土曜日に開催。多くのフードテントやフリーマーケットが並び、ステージイベントで盛り上がる一日。



青空市「高萩うまるしえ」が駅前イトーヨーカドー跡地で毎月第3土曜日に開催!

地域資源∞ 全国展開プロジェクト



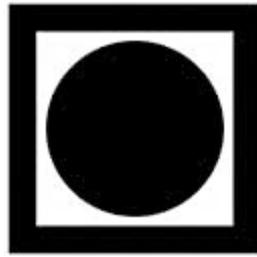
駅前通りの空き店舗を利活用した休憩スペース。地元野菜や特産品の販売、市民の絵画や写真などを展示する「ギャラリーまちなか」、市民の作品を展示・販売する「高萩マーケット」があります。コーヒー、紅茶も飲めます!



やすんでっ亭
味噌どら焼

高萩市観光協会 電話：0293-23-7316

高萩市商工会 電話：0293-22-2501



中山家家紋 枅形に月



高萩市キャラクター
はぎまる®



森林文化都市
- HANNO -
イメージキャラクター
夢馬



タイトル：絆
書：貝瀬芳雨

友好都市提携10周年記念事業実行委員会

- | | | | |
|-----|------------------------|-------|--------------------------|
| 顧問 | 中藤 栄岳 (智観寺住職) | 経済・産業 | 市川 章弘 (飯能市観光協会会長) |
| 顧問 | 加藤由貴夫 (飯能市議会議員) | 経済・産業 | 沼崎 修一 (飯能商工会議所) |
| 会長 | 大森 嘉朗 (飯能市友好都市交流委員会会長) | 文化・教育 | 浅見 賢治 (飯能郷土史研究会) |
| 副会長 | 新井 勝 (中山自治会会長) | 文化・教育 | 石井 英子 ("みんよう"ネットワーク飯能代表) |
| 副会長 | 関口 正博 (飯能市スポーツ少年団本部長) | 文化・教育 | 加藤 恵子 (飯能市友好都市交流委員会委員) |
| 記念誌 | 久下 文男 (飯能市郷土芸能保存会会長) | 総務 | 島崎 淳子 (飯能市友好都市交流委員会委員) |
| 記念誌 | 篠宮 敏次 (中山自治会顧問) | 総務 | 吉川真由美 (飯能市友好都市交流委員会委員) |
| 写真展 | 渡 紀四年 (飯能市友好都市交流委員会委員) | | |

平成26年(2014年)2月発行

- | | |
|-------|---|
| 発行 | 飯能市友好都市交流委員会 飯能市 高萩市 |
| 企画・編集 | 飯能市友好都市交流委員会(友好都市提携10周年記念事業実行委員会) 飯能市市民参加推進課
高萩市まちづくり観光課 |
| 協賛 | 飯能市観光協会 飯能商工会議所 高萩市観光協会 高萩市商工会 |
| 表紙題字 | 貝瀬芳雨(飯能書道連盟副会長・飯能市友好都市交流委員会委員) |
| 発行部数 | 1,000部 |
| 印刷 | 株式会社 文化新聞社 |